

平成 30 年度 ドライブレコーダー機器導入促進助成事業概要

公益社団法人 福岡県トラック協会

1. 交付要綱

別添「ドライブレコーダー機器導入促進助成金交付要綱」のとおり。

2. 助成対象

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 2 月末日の期間に、新規（中古品・レンタル品を除く）にドライブレコーダー機器（以下「車載器」という。）を導入し、支払いまで完了した公益社団法人福岡県トラック協会（以下「県ト協」という）及び支部・分会のいずれにも所属する会員事業所（以下「会員」という）に限る。

3. 申請方式・方法

機器導入後の事後申請方式となります。

会員事業所は、車載器を導入、支払い（リース契約）まで完了させ、平成 31 年 2 月末日までに下記の書類を公益社団法人福岡県トラック協会（業務一課）に F A X 【092（451）7964】して下さい。

- ① 「ドライブレコーダー機器導入促進助成実績報告書（助成金請求書）」様式 1
- ② 添付書類

（買取り）車載器の請求明細書（写）及び領収証（写）又は金融機関振込通知書（写）

（リース）車載器の価格明細書（写）及びリース契約書（写）

※受付期間中でも予算枠に達した場合は、その時点までとする。

【予算執行状況については、県ト協ホームページにて随時お知らせいたします。】

4. 助成対象機器

映像や走行に関するデータを記録できるドライブレコーダー車載器

※助成対象機器一覧参照

5. 助成額及び台数

	県ト協	全ト協
助成額	1 台当たり購入価格（税別、工賃・付属品等は除く）の半額（千円未満切捨て）を助成し、上限は次のとおりとする。 ①簡易型：10,000 円 ②標準型：15,000 円 ③運行管理連携型：20,000 円 ④スマートフォン活用型：3,000 円	車載器 1 台当り ①簡易型：助成対象外 ②標準型：助成対象外 ③運行管理連携型：20,000 円 ④スマートフォン活用型：助成対象外
助成台数	保有車両数（エンジン付き）の 20%（端数切り捨て）で上限 10 台までとする。	県ト協に申請した台数を全ト協に申請します。 <u>注 1</u> ）（全ト協のみの申請はできません）

※国が実施するドライブレコーダーの補助金とトラック協会（県ト協、全ト協）の助成金の併用はできません。

※この助成は一部全ト協との協調助成ですので、県ト協助成額と併せて、全ト協より運行管理連携型のみ車載器 1 台当り 20,000 円が助成されます。

※スマートフォン（多機能情報端末を有する携帯電話）の購入費用は助成対象外です。

※全ト協より、ヒヤリハット映像や事故映像について、提出を求められる場合があります。

注 1）全ト協の協調助成分（運行管理連携型のみ 20,000 円/台：）につきましては、県ト協にて申請いたします。

平成 30 年度 ドライブレコーダー機器導入促進助成金交付要綱

平成 30 年 4 月 1 日制定
公益社団法人 福岡県トラック協会

(目的)

第 1 条 この要綱は、公益社団法人福岡県トラック協会（以下「県ト協」という。）の事故防止対策事業の一環として、事故調査・原因分析や危険予測に効果があるドライブレコーダー機器（以下「車載器」という。）を購入する際の購入費の一部を助成することにより、交通事故防止に資することを目的とする。

(助成対象)

第 2 条 県ト協に所属する会員事業所（以下「会員」という。）とする。

(助成対象機器)

第 3 条 助成の対象となる機器は、映像や走行データを記録するドライブレコーダー車載器、スマートフォン（多機能情報端末を有する携帯電話）対応アプリケーションで以下の基準に該当するものとする。

- (1) 十分な耐久性があること。
- (2) 品質が保証され、保証期間が定められていること。
- (3) 機械的作動が円滑であること。
- (4) 時計が取り付けられており、時間情報を取得できること。
- (5) トラック用に開発されていること。
- (6) 事故や急加速・急減速などの一定の衝撃が生じた際に、トリガ前後の映像や瞬間速度、加速度等の走行に関するデータを記録できること。
- (7) 解析ソフトなどを介して、記録媒体に記録されたデータから事故及び危険挙動運転等の原因を分析できること。
- (8) EMS 車載器の機能を有すること、もしくは、国土交通大臣によるデジタル式運行記録計の型式指定を受けている機器のソフトウェアにおいて当該機器により記録された情報を活用できる機能を有すること。

※ドライブレコーダー機器の分類及び対象機器については助成対象機器一覧を参照して下さい。

(助成条件)

第 4 条 会員が所有する、福岡県内に登録している事業用貨物自動車に、別に定める期間に、新規（中古品・レンタル品を除く）に、車載器を導入し、支払いまで完了させ、県ト協に助成申請したものを対象とする。

（※リースでの導入も可）

※国が実施するドライブレコーダーの補助金とトラック協会（県ト協、全ト協）の助成金の併用はできません。

(助成対象期間)

第 5 条 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 2 月末日までとする。

但し、対象期間中でも予算枠に達した場合は、その時点までとする。

(助成金の交付額及び台数)

第6条 助成金の交付額及び台数は次のとおりとする。

(1) 車載器等 (スマートフォン対応アプリケーション含む)

車載器1台当たり購入価格(税別、工賃・付属品等は除く)の半額(千円未満切捨て)を助成し、上限を次のとおりとする。

- ①簡易型：10,000円
- ②標準型：15,000円
- ③運行管理連携型：20,000円
- ④スマートフォン活用型：3,000円

ただし、1会員事業所当たりの助成台数は保有車両数(エンジン付き)の20%(端数切り捨て)で上限10台までとする。

(助成金の請求)

第7条 (1) 会員は、様式1の「ドライブレコーダー機器導入促進助成実績報告書(以下「実績報告書」という。)」に、請求明細書及び領収書(又は金融機関振込通知書)の写しを添付し、県ト協に提出する。

(リースの場合は、価格明細が分かる書面(写し)、及びリース契約書【装着機種もしくは車両登録番号が明記されたもの】(写し)を提出する。)

(2) 県ト協への最終提出期限は平成31年2月末日必着とする。

(助成金の交付)

第9条 県ト協は、実績報告書の提出があったときは、速やかにその内容を審査し、条件に適合すると認めるときは、会員の指定する金融機関に助成金を振り込み交付する。

(機器の処分制限)

第10条 会員は、助成対象となった機器を導入の日から起算して1年を経過するまでの期間は譲渡、交換、廃棄、他用途への転用、貸付又は担保に供してはならない。

(雑則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関するその他の必要事項は、県ト協が別にこれを定める。

(附則)

本要綱は、平成30年4月1日より適用する。